

事業所名

障害児通所支援事業所 シュシュ

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2026年

2月

25日

法人（事業所）理念		～こどもたちのえがおがみらいをつくる～ 笑顔あふれる地域社会を創り出すために、地域の人々と共に、医療・福祉・教育等の諸問題について問題点の解決のために必要な事業を考え行動に移していきます							
支援方針		～こどももおとなも楽しくチャレンジを広げる～ 利用児の『やりたい』を見つけて『できる』を増やす 関係各所と連携したつながりのある療育を提供する 楽しさと成功体験を糧として成長を促す 笑顔あふれる安心できる居場所となる							
営業時間		8時	15分	18時	0分	送迎実施の有無	あり	なし	※学校お迎えのみ実施。自宅への送迎は人工呼吸器装着児のみ実施
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	看護師による体調管理や適宜の医療的ケアの提供 ①来所時、その他適宜の検温・健康観察②人工呼吸器等医療機器の管理③気管、口、鼻腔の分泌物の吸引④胃瘻等の栄養注入・服薬 構造化を用いた見通しが持てる環境設定 ①個人のスケジュールを提示②視覚的支援を用いた環境設定③聴覚的支援を用いた環境設定							
	運動・感覚	リハスタッフの評価に基づいた姿勢保持や運動支援 ①バギーの正しい使用②姿勢保持についての職員研修・安定できる姿勢保持の実施③個々の能力の評価と支援の方針の決定 運動遊びや感覚遊びによる運動機能の維持向上や感覚の特性へのアプローチ ①ボール操作を用いた感覚遊び②触覚にアプローチする感覚遊び③視覚、聴覚刺激とリラクゼーションを目的としたスヌーズレン④スイッチ操作のスキル獲得							
	認知・行動	完成を意識しながら過程を楽しむ活動の実施 ①クッキング活動。触覚、味覚、嗅覚を刺激して五感で楽しむ②制作。季節を楽しむ制作を行う。完成図や手順書を確認しながら過程を楽しむとともに季節についての気づきを支援する ③知的学習。年齢に沿った学習の実施④ワークシステムを活用した自立課題⑤スイッチと遊具等の因果関係の学習							
	言語 コミュニケーション	その子なりのコミュニケーションの手段を見逃さない ①クレーン行為を活かした意志表出②スイッチを使用した表現③他事業所等とも統一された身振り、サイン、カード等の実施 ④伝わったと実感できる成功体験の積み重ね。伝えることの喜びを伝えることの意欲につなげる							
	人間関係 社会性	人と関わることの喜びを知る ①子どものニーズに気づき安心できる環境設定②安心感の先にいる人たちとの信頼関係の構築 ③集団遊びへの移行による他者と過ごす時間の心地よさの気づき④レクリエーション活動を通して共通ルールを守る遊びの楽しさを知る							
家族支援		①安心して利用できる関係作り ②きょうだいの学校行事等や保護者の就労に合わせた利用日や利用時間変更等の対応 ③定期的な面談の実施、育児等の相談できる環境づくり			移行支援		①学校行事前後の配慮 ②長期休暇時、前後の心身への配慮。 ③長期休暇時の学校との連携による切れ目のない支援の実施		
地域支援・地域連携		①相談支援専門員との密な連携 ②他事業所等との連携による統一された支援			職員の質の向上		①面談の実施（1回以上/年） ②勉強会の実施（適宜） ③定期的なミーティング		
主な行事等		4月お花見 6月田植え 8月水遊び 7.8月児発・放課後合同療育・夏のお出かけ（個別） 10月稲刈り 11月合同運動会・お米クッキング 12.1月児発・放課後合同療育 1月初詣、鏡開き 2月節分 バレンタインクッキング 3月保護者説明会・茶話会 児発・放課後合同療育 1回/月避難訓練							